

「求められる人材」

副室長 進路担当 山崎 浩一

はじめまして。この4月より分教室に着任することになりました山崎浩一と申します。各学年の学年懇談会でも自己紹介をさせていただいたのですが、昨年は本校で進路指導を担当させていただきました。こちらでも、生徒のみなさんにとって、よりよい進路選択ができるように一緒に歩いていけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

本校にいたるときも前任校でも、分教室の生徒たちを見かけることはありましたが、実際に着任して思うことがいくつかあります。その一つが挨拶です。始業式以来、毎朝分教室の入り口で生徒たちを迎えるようにしています。およそ一カ月が経ち、多くの生徒たちが自分から挨拶をしてくれます。それはすばらしいことなので、引き続き続けてほしいと思います。

そんなほほえましい光景ですが、4月当初はなかなか生徒から「おはようございます」の声をかけてはもらえませんでした。私から挨拶をすると、頭は下げても「おはようございます」と返してくれない生徒が多かったです。おそらく異動してきたばかりの話したこともない先生で、自分たちからは挨拶しにくかったのだと思います。こういった光景は、長年支援学校の教員をしていると理解もできますが、いざ社会に出ていくことを考えると、やはりいつでも、どのような場面でも挨拶はすぐにできる人になってほしいと思います。

企業の方と話をしていても、「仕事は入ってから覚えたらいいし、教えるのは企業です。まずは挨拶ができることが大事です。」と常々言われます。もちろん挨拶だけできたら採用してもらえるわけではありませんが、挨拶や返事は基本中の基本です。生徒には、たとえ知らない人であっても同じ所属の人やお客様に対して、相手の顔を見て自分から挨拶ができる人になってほしいです。それが難しい人は自分から声を出す、頭を下げる、相手に声をかけられたら返すなど、個人のできる範囲からでいいので、よりよい挨拶ができるようになってほしいと思います。そして、その練習ができるのが学生時代だと思います。

先にも挙げましたが、生徒たちにとってより良い進路選択ができるよう、進路の幅が広がるように、一緒にできることを増やしていきたいと思います。ご家庭の協力も必要ですので、どうぞよろしくお願いいたします。



【 お知らせ 】

3年生担任の 田中 明浩 につきまして、この度事情により休職いたしました。そのことにより、代替教員として 坂口 岳史 が5月末に着任いたしましたのでご報告いたします。

ご心配とご迷惑をおかけいたしましたことに、お詫び申し上げます。

